

令和8年度 三浦市学力調査及び全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について

三浦市教育委員会

三浦市では、以下のことを目指して「みうらっ子学力アッププロジェクト」を進めています。

目的 ◎みうらっ子の自己肯定感を高め、自らの成長が実感できる学びづくり

☆みうらっ子の学力の向上と定着

☆教員の指導力の向上と改善（育成）

☆保護者の家庭学習への意識への向上

1 調査の概要と目的

令和8年4月に実施した「令和8年度 三浦市学力調査」及び「令和8年度全国学力・学習状況調査」の三浦市立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。

三浦市学力調査は、「みうらっ子学力アッププロジェクト」の目的達成のために、児童・生徒の学力や学習状況を経年的に把握し、学校における児童・生徒への教育指導の充実や、児童・生徒の学習状況の改善等に役立てるために行われるものです。

全国学力・学習状況調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行われるものです。

なお、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることも踏まえて、調査結果を報告するものです。

2 「みうらっ子学力アッププロジェクト」における三浦市の今後の取組について

三浦市教育委員会では、三浦市の児童・生徒が確かな学力を身につけていくため、本調査の分析と考察を行いました。調査結果から学習に関する基礎基本の定着に関して成果が見られるものの、考えを説明するなどの思考力・判断力・表現力の育成に關しての課題が明らかとなりました。

今後も、「みうらっ子学力アッププロジェクト」の目的達成を目指し、分析結果や各校での取組状況を共有する場を設け、情報提供と共有化を行い、授業力向上に向けて研修の充実や校内研究の共有化を図ってまいります。さらに、各学校では全国学力・学習状況調査該当学年（小6・中3）に加えて三浦市学力調査実施該当学年（小2～小5・中1、2）、そして小1の全学年において授業や学習状況の見直しを図り、授業改善につなげていく取組を行ってまいります。

子どもたちの生きる力（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）を向上させ、自己肯定感を高めていくためには、家庭・地域・学校・教育委員会の連携が重要であると考えています。三浦市の子どもたちが、よりよい生活習慣と学習習慣を身につけ、生涯にわたって学び続けるために、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

3 実施状況

(1) 調査の実施日 令和8年4月23日(木)

(2) 調査の対象

三浦市学力調査 小学校第2～5学年 中学校第1、2学年
全国学力・学習状況調査 小学校第6学年 中学校第3学年

(3) 実施項目

- ・教科に関する調査(小学校:国語、算数 中学校:国語、数学、英語)
- ・児童・生徒質問調査

(学習意欲や学習方法、生活、PCやタブレットなどのICT機器等に関する質問)

※英語及び児童・生徒質問調査は全国学力・学習状況調査のみ

(4) 実施校数

小学校 7校 中学校 3校

(5) 実施人数

小学校 2年生:213名 3年生:209名 4年生:216名 5年生:217名 6年生:239名
中学校 1年生:189名 2年生:200名 3年生:211名

(6) その他

序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の調査結果については、市としては公表しません。

全国学力・学習状況調査の平均正答数、平均正答率等を見ると、地域の規模等(公立:大都市、中核市、その他の市、町村、へき地)による大きな差はみられませんでした。(文部科学省 国立教育政策研究所「令和8年度全国学力・学習状況調査報告書」より)

4 結果

(1) 三浦市立小・中学校の教科別平均正答率等

※目標値・・・問題作成の際に「おおむね満足」と言える水準として設定した目標とする正答率。

【小学校2年生】(三浦市学力調査)

	国語			算数		
	教科総合	基礎	応用	教科総合	基礎	応用
三浦市	75.0	79.1	39.4	74.9	78.0	63.1
目標値	68.0	69.7	59.0	73.8	79.6	70.5
全国	86.8	89.6	63.0	88.2	90.3	80.1

【小学校 3 年生】（三浦市学力調査）

	国語			算数		
	教科総合	基礎	応用	教科総合	基礎	応用
三浦市	69.2	71.0	58.8	70.9	77.9	44.3
目標値	69.8	70.8	67.8	72.6	82.3	50.3
全国	83.2	84.5	75.7	85.1	89.6	68.2

【小学校 4 年生】（三浦市学力調査）

	国語			算数		
	教科総合	基礎	応用	教科総合	基礎	応用
三浦市	53.3	63.9	29.8	54.2	64.2	33.2
目標値	55.5	58.0	42.9	56.8	60.8	36.6
全国	72.6	78.8	50.9	73.9	81.7	57.4

【小学校 5 年生】（三浦市学力調査）

	国語			算数		
	教科総合	基礎	応用	教科総合	基礎	応用
三浦市	53.3	57.6	32.1	47.3	53.9	32.1
目標値	50.0	54.7	42.5	52.8	57.7	36.8
全国	66.7	70.6	47.2	64.7	71.4	49.1

【小学校 6 年生】（全国学力・学習状況調査）

	国語	算数
三浦市（公立）	53.0%	48.0%
神奈川県（公立）	61.0%	58.0%
全国（公立）	60.9%	56.4%

【中学校 1 年生】（三浦市学力調査）

	国語			数学		
	教科総合	基礎	応用	教科総合	基礎	応用
三浦市	50.6	52.6	38.6	50.7	59.5	23.1
目標値	53.7	54.3	52.9	48.0	50.8	27.0
全国	63.7	64.4	59.2	57.5	66.2	30.1

【中学校 2 年生】（三浦市学力調査）

	国語			数学		
	教科総合	基礎	応用	教科総合	基礎	応用
三浦市	62.0	64.2	48.7	50.7	56.5	32.2
目標値	50.0	56.3	42.6	51.1	52.2	34.7
全国	66.6	68.3	56.1	56.3	61.1	41.2

【中学校 3 年生】（全国学力・学習状況調査）

	国語	数学	英語（3 技能）
三浦市（公立）	59.0%	50.0%	481
神奈川県（公立）	65.0%	59.0%	525
全国（公立）	63.9%	57.0%	499

※英語はIRTスコアでの表示です。

「IRT」とは、児童・生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童・生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童・生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

「IRTスコア」とは、IRTに基づいて500を基準にした得点で表すものです。

※英語「話すこと」の結果については未公表であるため、後日ホームページの内容を更新いたします。

5 三浦市学力調査結果について

各学年とも、目標値との差で考えるとほぼ±5ポイントの範囲であり、おおむね満足する結果と言えます。昨年度の調査結果とほぼ同程度の結果でした。

全国平均との差で考えると、教科総合、基礎は多くの学年が10ポイント前後下回りました。応用については、もう少し大きく下回りました。昨年度の調査結果との比較については、上昇傾向の学年も見られました。

小学校国語の応用（登場人物の心情について説明したり、よりよい文章に修正したりするなどの問題）における正答率の低さが昨年に引き続き顕著であり、条件に沿って記述する問題の無解答率が高いという傾向があります。

また、算数・数学においても、問題の求め方を式と言葉で説明したりするような記述タイプの問題に対して苦勞している傾向は、小学校の算数・中学校の数学でも同様です。説明する問題の正答率は低く、無解答率が高い傾向があります。

この傾向は昨年度と同様であり、やや改善傾向にあるものの、依然として課題が残っていると言えます。

これらのことから、自分の考えをもつとともに、それを文章等で表現することについての学習の機会をより多く設け、児童・生徒のつまずきに対して適切な支援が必要だと考えられます。効果的な支援について、市内各学校の担当者による情報交換の機会を設けていく必要性が感じられます。

6 全国学力・学習状況調査結果について

○ 小学校6年生について

(1) 各教科の概要 (問題番号)

【国語】 〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

○話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(3一)

●考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができる。(2二)

●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(2四)

●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
(3二)

●目的に応じて、必要な情報を見付けることができる。(3三(1))

【算数】 〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

○数を四捨五入して、概数で表すことができる。(2(1))

○小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくること
ができる。(3(1))

●体積の意味について理解している。(1(3))

●日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示さ
れた条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することができる。(1(4))

●百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。(2(2))

●基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる。(2(4))

●整数と小数の減法の計算をすることができる。(3(2))

●異分母の分数の大きさを判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる。(3(3))

●示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述でき
る。(4(1))

●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。(4(3))

(2) 児童質問調査の結果概要

〈良好な項目〉(90%以上の児童が肯定的な回答をした項目など) ※「どちらかといえば」「ときどき」を含む

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

○人が困っているときは、進んで助けていますか

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか

○友達関係に満足していますか

○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組ん
でいますか

- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか

〈課題がある項目〉

- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

（3） 調査結果から分かること

教科に関する調査の平均正答率では、国語については、全国（公立）と比べ、やや低い傾向がありました。言葉の特徴や使い方に関する事項などの知識・技能の部分については、おおむね習得している傾向が見られました。一方、必要な情報を見付けたり、自分の考えが伝わるように工夫したりするなどの思考力・判断力・表現力に課題が見られました。

算数についても、全国（公立）と比べ、やや低い傾向がありました。数の計算などの知識・技能については、おおむね習得している傾向が見られました。一方、自分の考えを記述するなどの思考力・判断力・表現力に課題が見られました。

質問調査では、自分自身に関することや、「人が困っているときは、進んで助けている」や、「人の役に立つ人間になりたい」などの人間関係についてのことに、肯定的な回答が多く見られました。また、「英語の勉強は得意ですか」「英語の勉強は好きですか」といった英語学習に対する意識の高さもうかがえました。一方で、読書時間については少ない傾向、SNSや動画の視聴時間については多い傾向が見られました。

○中学校3年生について

（1）各教科の概要 （問題番号）

【国語】〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 助動詞の働きについて理解している。（1一）
- 単語の活用について理解している。（1三）
- 表現の効果を考えて描写することができる。（3二）
- 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。（2四）
- 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができる。（3一）
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。（4四）

【数学】〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができる。(1)
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えている。(6 (1))
- 箱ひげ図と四分位数の対応について理解している。(9 (2))
- 2直線が平行になるための条件を理解している。(3)
- 反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めることができる。(4)
- 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる。(6 (3))
- 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(7 (2))
- 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができる。(8 (3))
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができる。(9 (3))

【英語】(3技能) 〈おおむね、理解している内容〉：○ 〈課題がある内容〉：●

- 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができる。(2)
- 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる。(3)
- 日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができる。(4)
- 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができる。(5)
- 日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができる。(9)
- 社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができる。(10 (2))
- 音声や語彙、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。(11②)
- 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。
(12)(13)(14)

(2) 生徒質問調査の結果概要

〈良好な項目〉(90%以上の生徒が肯定的な回答をした項目) ※「どちらかといえば」「ときどき」を含む

- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 友達関係に満足していますか
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

〈課題がある項目〉

- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

（3） 調査結果から分かること

教科に関する調査の平均正答率では、国語については全国（公立）と比べ、ほぼ同程度です。ただし、自分の考えをまとめるなどの思考力・判断力・表現力の部分については課題が見られました。

数学については、全国（公立）と比べ、やや低い傾向がありました。数と式における知識・技能についてはおおむね習得している傾向が見られました。一方、問題解決の方法を数学的に説明するなどの思考力・判断力・表現力の部分については課題が見られました。

英語（3技能）については、全国（公立）と比べ、ほぼ同程度です。ただし、要点を捉えたり、まとまりのある文章を書いたりするなどの思考力・判断力・表現力の部分については課題が見られました。

質問調査では、生活習慣の定着や自分を肯定的にとらえる回答が高い傾向が見られました。また、人の役に立つ人間になりたいなどの人間関係についても肯定的な回答が多く見られました。また、小学校に比べて文章問題を無解答にせずに取り組もうとする意識の高さもうかがえました。一方で、読書時間については少ない傾向、SNSや動画の視聴時間については多い傾向が見られました。

○三浦市 教科調査および質問調査の傾向について

児童・生徒質問調査の結果と教科（国語、算数・数学、英語）の正答率との関係について、教科の正答率が高い傾向が見られた質問等を抜粋し掲載します（相関関係があったものであり、必ずしもそれが因果関係を示すものではありません）。

次のような回答をした児童・生徒に、教科の正答率が高い傾向が見られる。

- ・朝食を毎日食べていること
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいこと
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができること
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、読書を1時間以上していること
- ・これまでの授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいること
- ・学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげていること

以上のように、学びに向かう粘り強さ、自力解決、自らの学習を次につなげる態度等が児童・生徒の学ぶ意欲、学ぶ力の向上につながることが分かります。